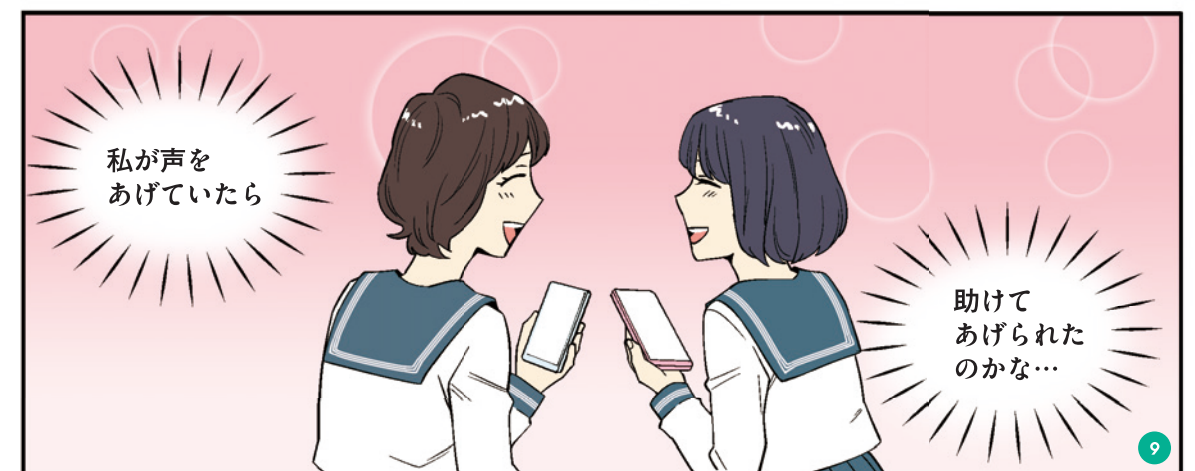
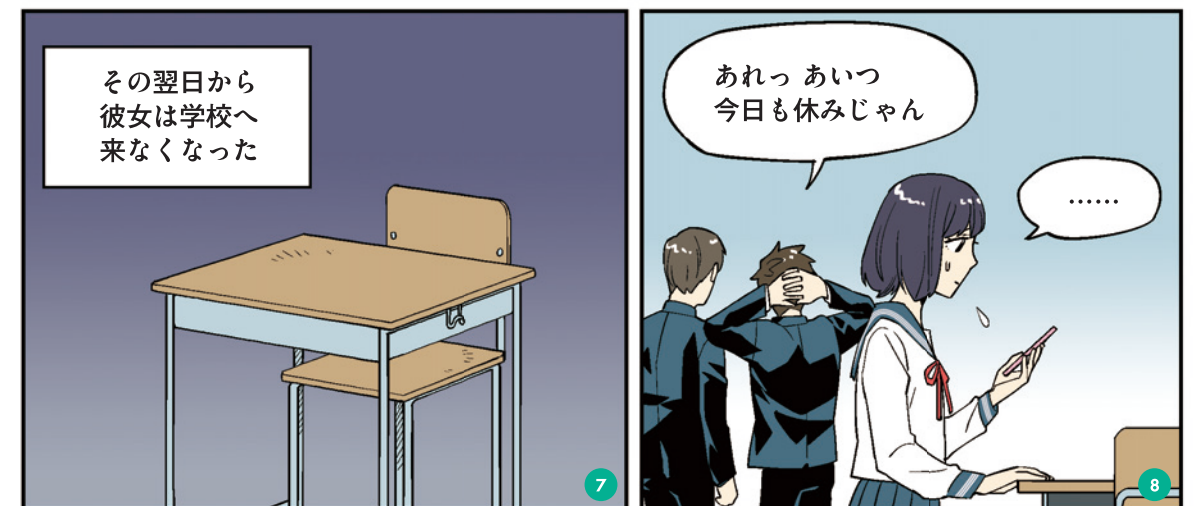
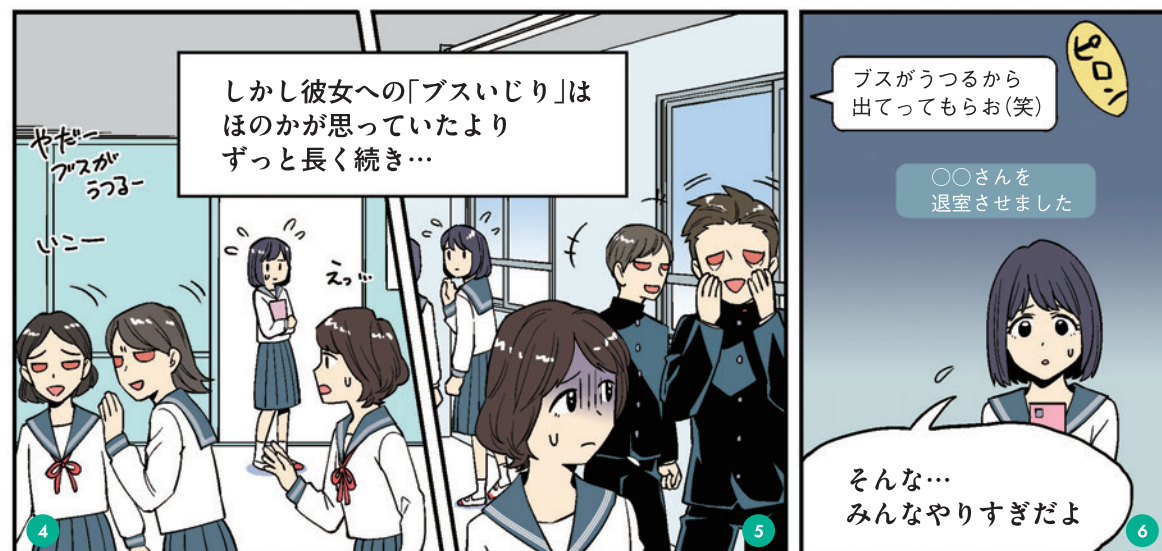
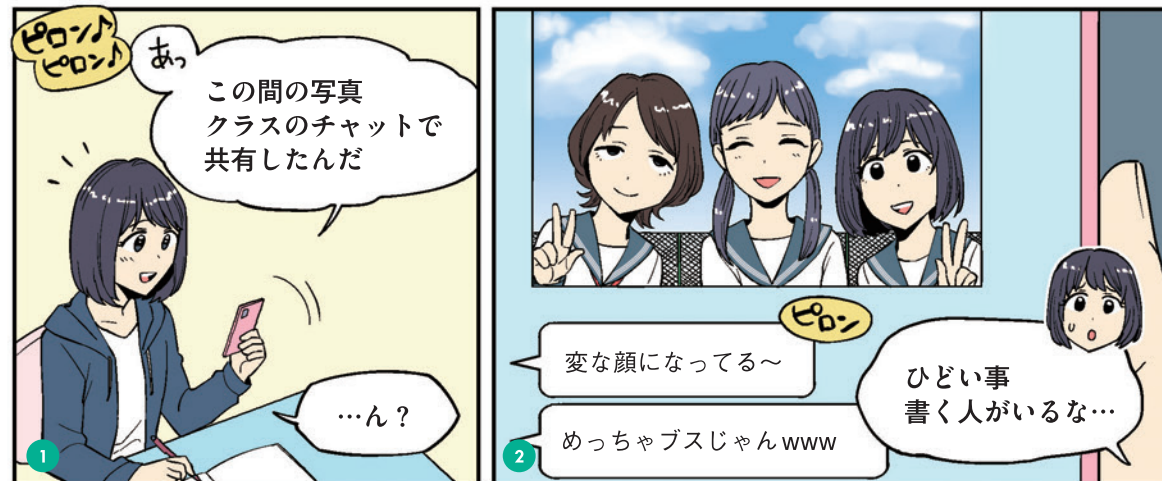




point 陰湿なSNSいじめが自殺に発展することもある！

SNSを使ったいじめは年々増えており、令和元年には生徒による自己申告だけでも、1年間で8,629件もの報告がありました(文科省調べ)。これらのいじめには、自殺につながる痛ましい事件に発展したものも少なくありません。

現在、政府は匿名発信者の特定をしやすくするための制度改革に向けて動き出しています。SNS事業者は、SNSでの嫌がらせや誹謗中傷を禁止事項として明記し、違反者に対する利用停止などの措置、法律に基づく情報の開示が徹底されるようになりました。侮辱罪の厳罰化も検討されています。

友だちの書き込みに対し既読をアピールするために、内容を読まず「いいね!」やリツイートなどの反応をしてしまうことがあるかもしれませんが、これも要注意。それが特定の人を誹謗中傷する内容だった場合、意図せずいじめを助長することになります。他人の書き込みに対して何らかのアクションを起こすときは、その前に自分の責任で必ず内容を確認しましょう。

